

株式会社
ピー・ビーシステムズ

(証券コード：4447)

会社説明資料

UPDATE 2021年7月27日



代表者のプロフィール

富田 和久 (とみた かずひさ)
1963年7月17日生 (58歳)

略歴

- 1982年3月**
福岡県立福岡高等学校 卒業
- 1986年3月**
九州大学 経済学部 経済工学科 卒業
- 1986年4月**
野村コンピュータシステム(株)
(現(株)野村総合研究所) 入社
- 1992年1月**
(株)シティアスコム 入社
- 1997年2月**
当社設立 代表取締役社長(現任)



企業概要

社名 : **株式会社ピー・ビーシステムズ**

社名の由来 : *P o w e r f u l a n d B e a u t i f u l*
(力強く、美しいシステムを作ろう)

経営理念 : どんな時でもその一歩を踏み出す「**勇者たらんと。**」

設立 : 1997年2月 . . . ⇒現在第25期4Q中

所在地 : 福岡市博多区東比恵3丁目3-24

資本金 : 2億3,798万円(2021年3月末)

社員数 : 49名 (2021年3月末:取締役7人/監査役3人除く)

直近業績 : 2020年9月期実績 売上高 2,281百万円・経常利益219百万円

上場市場 : コード4447 (福岡証券取引所 Q-Board単独上場) 貸借銘柄指定

事業概要 : 全国の企業、団体向けに各種情報システムを構築する独立系SIer
システム仮想化技術に精通したクラウド基盤構築力が強み

事業紹介

当社は以下の2つの事業を展開しています。

セキュアクラウドシステム事業(SCL事業)

「デジタルワーク推進からDXの実現」

をクラウド技術力でトータルにサポートする事業です。

エモーショナルシステム事業(EMO事業)

「デジタルワークを躍動させる映像テクノロジー」

体験共有型VRシアター「4DOH」シリーズを

製造販売する事業です。

セキュアクラウドシステム事業 (SCL事業)

これからの時代の旺盛な需要へ対応するSCL事業

DX（デジタルトランスフォーメーション）へ

競争力を高めるビジネスのデジタル化を推進するため、企業がデータ蓄積の効率化とデータ活用の高度化を求める「**DX需要**」

環境調和と持続可能社会への対応

硬直した旧式・非効率な業務システムをクラウドに刷新すると同時に省資源化・省エネルギー化を図る「**2025年の崖 克服 需要**」

多様な働き方、安全なリモートワーク、事業継続危機に対する防御力と回復力を高めるシステムの障害/災害耐性強化「**ディーセント・ワーク^{※1} とレジリエンス 需要**」

SaaS提供基盤・ハイブリッドクラウド化の商機

コロナ禍において、社会の SaaS^{※2} 利用が加速した結果、SaaS事業者のレンタルサーバー使用費用が急増。そのコスト構造見直しのため、オンプレミスクラウドを有効利用する「**ハイブリッドクラウド化 と オンプレミス回帰^{※3} 需要**」

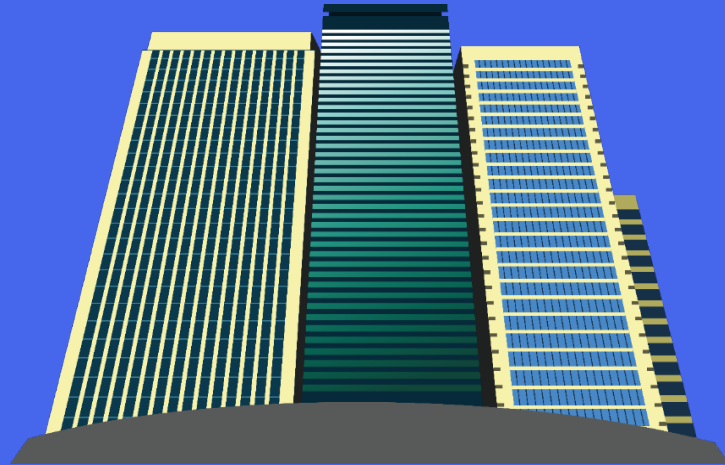
※1 ディーセント・ワーク・・・働きがいのある人間らしい仕事

※2 SaaS・・・Software as a Service

※3 オンプレミス回帰・・・過去にパブリッククラウドに移行したシステムを、再びプライベートクラウド（オンプレミス環境）へ移行しようという動き

ターゲット顧客と事業展開（SCL事業）

中堅企業・公共（大企業）



SDGs と DX を クラウド技術でサポート

- ・クラウド中心の安全で高速なデータ活用基盤
- ・危機的状況でも事業継続するレジリエンス
- ・システム不正利用を防ぐサイバーセキュリティ
- ・高コストで資源効率の低い老朽システムの刷新、2025年の崖の克服
- ・多様な働き方、テレワークの生産性向上対応

SaaS事業者



SaaSの提供基盤となる クラウド環境構築をサポート

- ・SaaS提供用大規模クラウド基盤構築
- ・既存クラウドのハイブリッドクラウド化、SaaS事業のコスト構造変革
- ・業務ソフトメーカーのDX、本格SaaS化支援
- ・レスポンス改善等、顧客満足度向上支援

「デジタルワーク推進からDXの実現」

DXとSDGsを実現する当社の優位性（SCL事業）

当社の技術力 と パートナー連携力を高め続けることで、実行力を盤石化

シトリックス

最上位パートナー

Citrix Solution Advisor Platinum Plus（国内初認定）

有資格技術者数最多 → 希少なデジタル人材が結集
（シトリックス認定販売パートナー **299社のTop**）

スペシャリスト認定

Citrix Japan Partner Award 受賞多数

（2013年/2014年/2016年/2017年/2019年/2020年）

オラクル

Oracle Partner

2019/11/22 オラクルが提供するクラウドへのビジネス本格参入のお知らせ

マイクロソフト

Microsoft Partner Gold Datacenter

VMware

VMware Advanced Partner

パートナーエリアコンテスト 通算5回受賞、殿堂入り

2020/4/24 VMware パートナーエリアコンテスト九州・沖縄エリア トップ受賞のお知らせ

Sky

SKYDIV Desktop Client Solution Partner（国内初認定）

2021/7/6 Sky株式会社との協業のお知らせ

アセンテック

VDI のトータルソリューションを国内市場へ提供 等

2020/5/14 アセンテック株式会社との業務提携に関するお知らせ

アイドマ・ホールディングス

営業支援サービスを活用した受注強化

2021/6/28 アイドマ・ホールディングス社の営業支援サービスを活用した
受注強化策の取り組み開始のお知らせ

DELL TECHNOLOGIES

GOLD SOLUTION PROVIDER

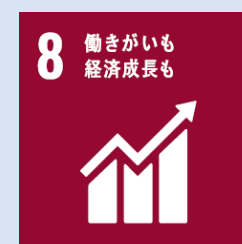
事業を通じて企業・SaaS事業者のSDGsを推進（SCL事業）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「デジタルワーク推進からDXの実現」

クラウド中心の高速で使いやすい データ活用基盤構築の提供

業務システムとデータをクラウドに集約、
電力などの資源利用を効率化。
ビジネスのデジタル化を推進。



堅牢なサイバーセキュリティの提供 企業や公共機関の情報システムを 不正ログインやサイバーテロから防御



危機的状況でも企業が事業継続する レジリエンスソリューションの提供 障害・災害のダメージからの迅速な システム回復



エモーショナルシステム事業 (EMO事業)



エモーショナルシステム事業

「デジタルワークを躍動させる映像テクノロジー」

360度スクリーンに3D映像を切れ目なく表示する特許をもとにした、
没入感の高いVR空間を生み出す「4DOH」シリーズを製造販売する事業です。



プレスリリース

各位

2021年7月19日

 **Powerful and Beautiful!**
株式会社 ビー・ピー・システムズ
(コード番号: 4447 福証Q-Board)

鉄道博物館にて「4DOH」最新作
「新幹線変形ロボ シンカリオン 360°ザ・ムービー —新たなる運転士—」
7月23日(金)より公開決定!!

「デジタルワーク推進からDXの実現」を旗印として事業拡大中の株式会社ビー・ピー・システムズ(福岡県福岡市、代表取締役社長: 富田和久、以下、当社)は、当社が製造販売する、多数の人が同時にVRを体験できる装置「4DOH」の最新作コンテンツ「新幹線変形ロボ シンカリオン 360°ザ・ムービー —新たなる運転士—」が、鉄道博物館(埼玉県さいたま市、4DOH販売代理店: 田中電気株式会社)にて7月23日(金)より公開されることをお知らせいたします。

本作では運転席視点の3D映像が眼前に広がり、あたかもシンカリオンE5はやぶさを操り、敵エージェントたちと戦っているような体験ができます。前作「新幹線変形ロボ シンカリオン 360°ザ・ムービー」から更に臨場感がアップした360°の3D映像を体験できる作品となっています。

■コンテンツ情報



©PJ-S・J/S・TBS

7月19日プレスリリース

鉄道博物館にて「4DOH」最新作「新幹線変形ロボ シンカリオン 360°ザ・ムービー —新たなる運転士—」7月23日(金)より公開決定!!

ターゲット顧客と事業展開 (EMO事業)

民間企業



バーチャル工場見学
産業設備 バーチャル商談

大手企業



バーチャル
住宅展示場

住宅販売会社



屋内外 広告
プロモーション

広告代理店
音楽出版社



LIVE中継/
パブリックビューイング
ミュージックビデオ

観光施設



テーマパーク
アトラクション

遊園地



統合リゾートホテル

リゾート施設

公共機関



バーチャル
防災訓練

防災機関



バーチャル地域観光
地方創生

自治体
DMO

(観光地域づくり法人)



スポーツ科学

大学・研究施設
スポーツ団体



各種見学 /
双方向教育コンテンツ

科学館
博物館

「デジタルワークを躍動させる映像テクノロジー」

防災教育への活用イメージ（EMO事業）



VRで災害をリアルに疑似体験し、災害予防や避難などを学習します。



i4DOHではVRゴーグルを使用しないため、様々な種類の災害状況を、お互いにコミュニケーションをとりあいながら学習することができます。

事業を通じたSDGsの推進（EMO事業）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

科学館・博物館での4DOH導入推進

科学教育など、楽しみながら学ぶVR体験教育の機会づくりに4DOHが貢献します。



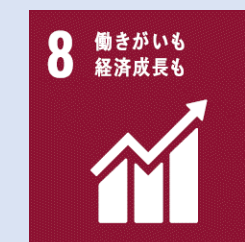
人々が安心して暮らせる居住環境づくりへの4DOHの展開

居住環境、災害状況のシミュレーションのVR体験装置として4DOHの普及を目指しています。



企業のDXへの貢献

企業のプラントや物流設備など人手がかかる作業施設のリアルな映像制作によるプロセス改革によってDX実現への可能性があります。



「デジタルワークを躍動させる映像テクノロジー」

免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招来し得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-24
株式会社ピー・ビーシステムズ
経営企画部 IR担当
TEL 092-481-5669
MAIL ir@pbsystems.co.jp
URL <https://www.pbsystems.co.jp>